

平成 18 年 4 月 10 日

各 位

東京都渋谷区渋谷 1 丁目 17 番 8 号
日本エンタープライズ株式会社
代表取締役社長 植田勝典
(コード番号 4829 ヘラクレス市場)
問合せ先:取締役管理本部長 田中勝
TEL: 03-5774-5730

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 7 月 8 日の決算発表時に公表した平成 18 年 5 月期（平成 17 年 6 月 1 日 ～ 平成 18 年 5 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 5 月期連結業績予想数値の修正（平成 17 年 6 月 1 日 ～ 平成 18 年 5 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,960	730	380
今回修正予想(B)	3,450	680	390
増減額(B-A)	△510	△50	10
増減率(%)	△12.9	△6.8	2.6
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 5 月期)	3,018	570	348

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 1,040円55銭

2. 平成 18 年 5 月期個別業績予想数値の修正（平成 17 年 6 月 1 日 ～ 平成 18 年 5 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,670	720	370
今回修正予想(B)	3,350	720	410
増減額(B-A)	△320	0	40
増減率(%)	△8.7	0.0	10.8
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 5 月期)	2,809	573	340

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 1,093円92銭

3. 修正の理由

当連結会計年度における業績につきましては、売上・経常利益・当期利益ともに事業の順調な伸長により、前年度実績を上回る見込みとなっておりますが、当期利益につきましては当初の計画を上回るものの、売上、経常利益につきましては当初の計画を下回る見込みであります。

売上高の修正につきましては、着うたコンテンツ「うた&メロ取り放題」において、i-mode、Vodafone live!の会員数は引き続き増加傾向にあるものの、EZweb においては、広告効果の低下などにより、その伸びの鈍化傾向が当初の予想より進み、若干の会員数減少が見込まれること、上期において事業モデルの整理を進めてまいりました子会社におけるコマース事業においては、再生の遅れが見込まれることが主たる要因となり、前年比は増加しているものの、当初予想を下回る見込みとなったことによるものであります。

音楽コンテンツにつきましては、着うた・着うたフルとジャンルも増え、そこでご提供する楽曲も「原盤」「アレンジ」と多様になってまいりました。今後は、これまでメインでご提供しておりました「アレンジ・着うた」に留まらず、「原盤着うた・着うたフル」「アレンジ着うたフル」に関しましても、新企画の投入とラインナップの強化により、新しい顧客層の獲得を目指してまいります。コマース事業に関しましては、事業戦略・体制の見直しを図ってまいります。

また、経常利益の修正につきましては、中国事業において事業開始の具体的準備の速度が速まったことにより、販売管理費等が当初計画より増加したことが大きく影響し、前年比は増加しているものの当初予想を下回ることとなる見通しであります。中国事業に関しましては、これらの先行投資による万全の体制により、来期以降に本格的な業績拡大を図ります。

当期純利益につきましては、第4四半期において特別利益に投資有価証券の売却益が計上される見込みとなったことにより修正いたしました。

以上の要因により、平成18年5月期の通期の連結業績見通しにつきましては、売上高3,450百万円（前期比14.3%増）、経常利益680百万円（前期比19.3%増）、当期純利益390百万円（前期比12.1%増）、通期の個別業績見通しにつきましては、売上高3,350百万円（前期比19.3%増）、経常利益720百万円（前期比25.7%増）、当期純利益410百万円（前期比20.6%増）、を見込んでおります。

なお、配当につきましては、従来通り年間300円を予定しております。

（注）上記に記載した業績予想は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等はこの資料に記載されている予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

以上